

家の中の安全対策

建物が無事でも、家具などが転倒すると、その下敷きになってけがをしたり、室内が散乱することで、逃げ遅れたりする場合があります。家庭での被害を防ぎ、安全な逃げ道を確保するためにも、家具の転倒防止をしておきましょう。

地震に強い家具の置き方・使い方！

- 収納するときは重いものを下に、軽いものを上にして、重心を下げる。
- 家具の上には、ガラス製品やテレビなど重量のあるものを置かない。
- じゅうたんや畳の上に、背が高くて倒れやすい家具は置かない。
- 家具の下には転倒防止板を敷き、壁にもたれ気味に置く。
- 背の高い家具、重量のある電化製品は、金具などで固定する。
- 家具類にガラスが使われている場合は、飛散防止フィルムを貼る。

◆本棚は…

L字金具や突っ張り棒などで固定し、重い本は下に置く。隙間をブックエンドで固定するなど空間をつくらないようにしましょう。

◆タンスは…

L字金具や突っ張り棒などで固定。上下2段タイプのものは、平型金具で連結しましょう。

◆冷蔵庫は…

背部の取っ手にベルトなどを掛けて固定しましょう。メーカーが専用のベルトなどを別売りで用意している場合があります。

◆テレビは…

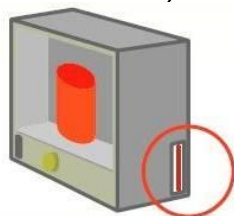
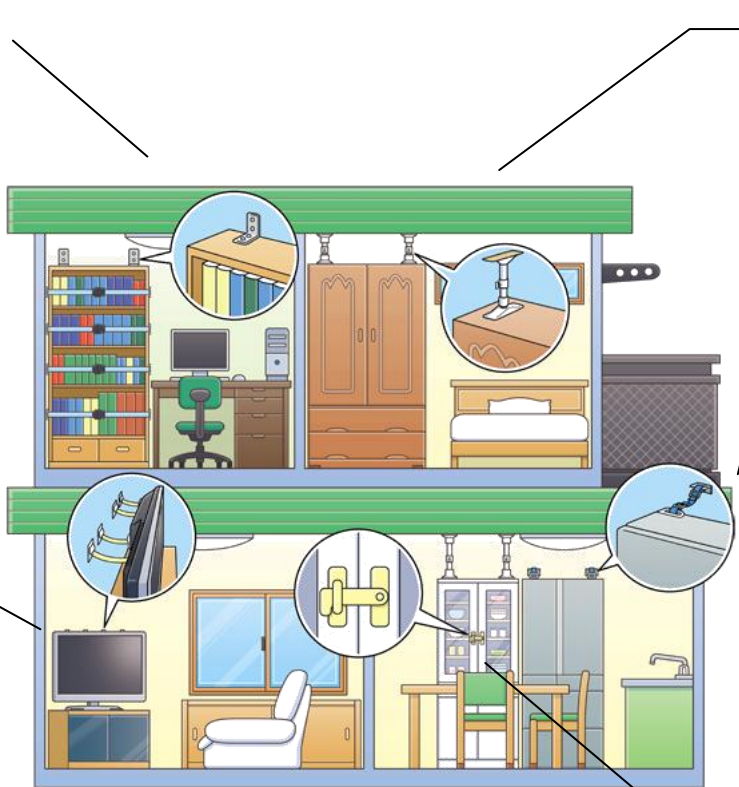
可能ならば、テレビとテレビ台をボルトなどで固定。もしくはテレビの底面に耐震粘着マットを貼って、台と固定しましょう。

◆ストーブは…

耐震自動消火装置付きのものを選び、周囲に燃えやすいものを置かないようにしましょう。

◆食器棚は…

L字金具や突っ張り棒などで固定し、扉が開かないよう留め金具を取付け、棚板にはすべり止めシートを敷くようにしましょう。



寝室での注意点

- 寝ている位置に家具が倒れてこないように、向きを工夫する。
- 自分の上に家具が倒れてこないように、机などで防いだり、十分な距離をとる。
- 家具が倒れても、ドアが開くように出入口にはなるべく家具を置かない。

家の周りの注意点

一戸建て、集合住宅にかかわらず、地震で落下しそうな物はないか、外に脱出するときに邪魔になる物を置いていないか、日ごろから家の周囲の安全をチェックしておきましょう。

◆窓ガラス

飛散防止フィルムをはる。

◆ブロック塀・門柱

土中にしっかりとした基礎部分がないもの、鉄筋が入っていないものは危険なので補強する。ひび割れや鉄筋のさびも修理する。

◆屋根

不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく。

◆ベランダ

植木鉢などの整理整頓をする。落ちる危険がある場所には何も置かない。

◆プロパンガス

ボンベを鎖でしっかり固定しておく。